



まつりの夜を彩る弟子屈音頭

摩周の里夏まつり

摩周の里夏まつりが7月11、12の両日、役場前駐車場で開催されました。同実行委員会が主催したもので、今年で5回目。町民有志の皆さんが中心となって、多彩なイベントを企画しました。11日はゲームやカラオケなどのイベントのほか、弟子屈小学校・弟子屈中学校・弟子屈高校の吹奏楽、Pレバントワラー弟子屈教室・I&Mパトンスタジオ・アイランドパトクラブの発表などが行われました。12日は恒例となった第20回全道摩周玉入れ選手権大会が行われ、熱戦が繰り広げられました。



真夏日にも負けない熱い戦い



華麗なパトン演技を披露



泉の合った演奏で観客を魅了



カイトぱいカゴを組む



チームごとに作戦を練る



子どもたちに大人気だった「ふわふわドーム」

第54回弟高祭

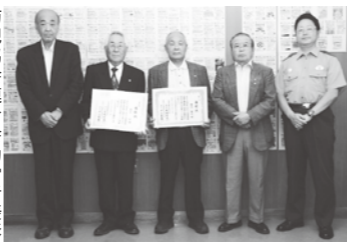
第54回弟高祭が、7月11日から12日にかけて開催されました。今年のテーマは「[団結]の意味を込めた[CONNECT]」。パレードや摩周の里夏まつりでのアトラクション披露、各クラスごとに趣向を凝らしたホームルームスペース、委員会や部活動の展示などが行われました。



6月2・18日

地域の防犯活動に貢献 弟子屈地区防犯協会連合会の皆さんを表彰

防犯協会連合会功労者表彰を報告する受賞者の皆さん



弟子屈地区防犯協会連合会理事(川湯)の作田幸久さん(64歳)と同会代議員(弟子屈)の奥田昭夫さん(79歳)が、釧路方面防犯協会地域安全功労者表彰を受賞しました。表彰式は、6月2日に釧路市で開催された平成27年度釧路方面防犯協会連合会役員会・定期総会で行われました。

また、6月18日に札幌市で開催された平成27年度防犯功労者表彰式で、弟子屈地区防犯協会連合会副会長(標茶)の銚谷隆行さん(77歳)と同(弟子屈)渡邊弘さん(79歳)が、北海道防犯協会連合会功労者表彰を受賞しました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

6月29日

外来種駆除通して環境保全学ぶ 児童・生徒によるジュニア・パーク・レンジャー

オオハンゴンソウを駆除



川湯・和琴・美留和・奥春別小学校児童、川湯中学校生徒・おひさま・川湯保育園児によるジュニアパークレンジャー事業(同実行委員会主催)が6月29日、町内で行われました。

国指定の特定外来種・オオハンゴンソウ(北米原産)の駆除を通して、地域の自然環境保全や社会貢献活動への関心を高めようというもので、今年で3回目です。子どもたちは、環境省川湯自然保護官事務所や川湯エコミュージアムセンターの職員、パークボランティアの皆さんから、オオハンゴンソウと他の植物との区別の仕方について説明を受け、駆除に挑戦。協力し合いながら、根本から引き抜いていました。

6月25日

皆さんが歩きやすい登山道に 摩周岳登山道でササ刈り

手際よく作業を進める皆さん



川湯エコミュージアムセンターを運営している屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会(会長・徳永町長)を中心とした関係機関の皆さんが6月25日、摩周岳登山道の整備を行いました。

毎年、初夏と秋の2回、登山道入り口から西別岳への分岐点となる片道約5.6キロの間で行っています。この日参加した22人は4グループに分かれ、森林組合員が機械で刈ったササを熊手で払っていきました。また、道上まで伸びた木の枝を切ったり、標識周りの下草を刈る作業も行われ、歩きやすい登山道となりました。次回は9月に行う予定です。

7月13日

ふるさとの釧路川を豊かに リバープロテクション・21の会がヤマメを放流

大きくなってねと願いを込めて



釧路・リバープロテクション・21の会(上田光夫会長)によるヤマメの稚魚の放流が7月13日、摩周温泉公園の釧路川護岸で行われました。

魚類資源の回復のために毎年行っているもので、釧路開発建設部釧路河川事務所や町、会員など関係者約40人が参加。弟子屈小学校(佐野哲哉校長)の2年生41人も招待され、ヤマメの稚魚2,200匹を放流しました。上田会長は「昔のようにヤマメがいる川になってほしい」と話していました。

7月12・15日

みんなで住みよいまちづくりを 社会を明るくする運動の街頭啓発

夏まつり会場で啓発上弟小へ啓発品贈呈



社会を明るくする運動強調月間の7月、保護司や更正保護女性会などで組織する実行委員会(実行委員長・徳永町長)の皆さんによるさまざまな啓発活動が行われました。

12日には摩周の里夏まつりの会場で啓発活動を行ったほか、15日には、J A摩周湖前とフクハラ摩周店前で買い物客にティッシュなどを手渡し、住みよいまちづくりへの理解と協力を呼び掛けました。また、町内小・中学校を訪問し、子どもたちへノートとペンを贈りました。